

調査票番号	
パスワード	

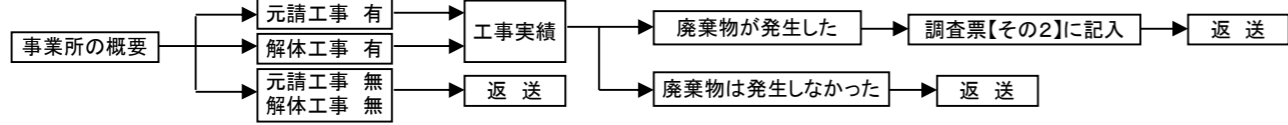


佐賀県

形式E (建設業)

産業廃棄物実態調査票
(令和5年度実績)【その1】

- 本調査の対象期間は**令和5年度**(令和5年4月1日~令和6年3月31日)の1年間に佐賀県内で施工した全ての元請工事(出来高工事含む)を対象とします。
- 共同企業体(J.V)による工事については、分担施工方式では各社持ち分の元請工事高と発生廃棄物等を記入し、共同施工方式では貴社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と発生廃棄物等を一括記入してください。
- 下記の提出フローに従い記入し、返送してください。



- 産業廃棄物等(自社又は工事現場で不要となり、有償で取引されたものを含む)が調査の対象期間中に**何も発生しなかった場合は**、本調査票【その1】の「事業所の概要」、「令和4年度工事実績」欄をご回答いただき、「廃棄物等発生の有無」欄を「2. 発生しなかった」に○を付けてご返送ください。
- 本調査における**汚泥の発生量**は、**脱水機投入前の濃縮汚泥の量**を記入してください。
- 別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考にしてください。
- 本調査に関するお問い合わせは、株式会社グリーンエコ
(電話: 0120-380-121 E-mail: saga-sp@gr-eco.co.jp) へお問い合わせください。

事業所の概要	事業所名			
	所在地	〒 -		
	ふりがな			
	記入者部・課名:	氏名:		
電話番号	-	-	FAX番号	-

令和5年度	工事実績	元請完成工事高 (消費税含む)					解体工事請負金額 (消費税含む)											
		佐賀県内の元請完成工事					佐賀県内の解体請工事											
1 あり	→	千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	億	千万	百万	十万	万	万円/年
2 なし																		万円/年

廃棄物等	発生の有無	令和5年度の1年間に産業廃棄物等(自社又は工事現場で不要となり、有償で取引されたものを含む)は発生しましたか。該当する番号に○を付けてください。	
		1. 発生した	2. 発生しなかった

産業廃棄物等が発生していない事業所に対するアンケートはここまでです。このままご返送ください。

本票裏面の「調査票【その2】」に、自社又は工事現場から発生した産業廃棄物等の発生から中間処理、さらに最終処分(埋立処分あるいは再生利用)されるまでの一連の流れを記入してください。

産業廃棄物実態調査票(令和5年度実績)【その2】

- 別紙「調査票の記入要領・記入例」、「廃棄物等分類表」を参考に記入してください。
- 自社・工事現場で発生した副産物(産業廃棄物、有償・無償引渡物)全てが対象となります。再生利用、売却をしている場合も記入してください。

①事業所で発生した廃棄物の名称
貴事業所で日常使用している名称で記入してください。(別紙「廃棄物等分類表」に示した具体例を参照)

②廃棄物等の分類番号
別紙「廃棄物等分類表」から、該当する4ケタの番号を記入してください。(該当する番号が無い場合は、①の名称だけで、番号の記入は不要です。)

③廃棄物等の発生場所
廃棄物等の発生場所を記入し、下欄「③地域コード表」から該当する番号を記入してください。

④年間の発生量(中間処理を行う前の量)
記入欄の各行ごとに1年間の発生量を、焼却や脱水などの中間処理を行う前の量で記入してください。単位は該当するものを選び○で囲んでください。

⑤自社での中間処理方法
自社で中間処理した場合は、該当する処理方法の記号を下欄の「⑥中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の方法順に記入してください。

⑥中間処理後の量
中間処理後の残量を記入してください。単位は該当するものを選び、○で囲んでください。

⑦処理・処分の方法
発生した廃棄物等(自社で中間処理した場合は、中間処理後の廃棄物等)の処理・処分方法を下欄の「⑦処理・処分方法コード表」から選んで、その記号を記入してください。

⑧処理・処分先又は再生利用先の名称
⑦の処理を行った事業者(委託業者)の名称を記入してください。

⑨処理・処分先又は再生利用先の所在地
⑦の処理を行った事業者の施設の所在地(施設の設置場所)を記入してください。

⑩処理・処分先又は再生利用先の所在地番号
⑦の処理を行った事業者の施設の所在地(施設の設置場所)に該当する番号を下欄の「⑩地域コード表」から選んで、記入してください。

⑪委託中間処理の方法
⑦の「処理・処分の方法」で「U1」と回答した場合(中間処理を委託)は、委託先で中間処理された内容に該当する処理方法の記号を下欄の「⑪委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の方法順に記入してください。

⑫委託中間処理後の処分の方法
委託先で中間処理された後の廃棄物等の処分方法に該当するものを下の1～3から選び、その番号を○で囲んでください。

1. 再利用・再生利用した
2. 埋立処分した
3. 海洋投入処分した

⑬再生利用用途
⑦の「処理・処分の方法」で「V1,V2,W1,X1,R6」又は⑦で「U1」とし、前問⑫で「1」と回答した場合、下欄の「⑬再生利用用途コード表」から該当する番号を選んで、記入してください。

⑭再生利用・最終処分場の名称
委託中間処理後の廃棄物等(残さ)の再生利用、最終処分を行った場所を、下欄「⑭地域コード表」から選んで、該当する番号を記入してください。

⑮再生利用・最終処分先の名称
委託中間処理後の廃棄物等(残さ)の再生利用先、最終処分先の事業者名を記入してください。
なお、委託中間処理後の残量を把握している場合は、その数値を記入し、該当する単位を○で囲んでください。
<分かる範囲で結構です。>

区分		自社又は工事現場で発生した廃棄物等の発生量								自社又は工事現場での中間処理							自社処分・自社再生利用、委託処理・処分					委託中間処理			自社・委託での資源化		委託中間処理後の処分										
E2	行番	①廃棄物等の名称		②分類番号		③廃棄物等の発生場所(工事場所)		④年間発生量		⑤処理方法			⑥中間処理後量				⑦処理・処分の方法	⑧処理・処分先又は再生利用先の名称		⑨処理・処分先又は再生利用先の所在地		⑩所在地番号			⑪処理方法			⑫処理後の処分方法	⑬再生利用用途	⑭再生利用・最終処分場の場所	⑮再生利用・最終処分先の名称						
						(工事場所)				1次	2次	3次	百	十	万	千		百	十	単	1次	2次	3次	1次	2次	3次	単位										
記入欄	1						市町												都道	市町							1・2・3						t m ³				
							村													府県	村												kg				
	2						市町													都道	市町							1・2・3						t m ³			
							村														府県	村												kg			
	3						市町														都道	市町							1・2・3						t m ³		
							村														府県	村													kg		
	4						市町														都道	市町							1・2・3						t m ³		
							村														府県	村													kg		
	5						市町														都道	市町							1・2・3							t m ³	
							村														府県	村														kg	
	6						市町														都道	市町							1・2・3							t m ³	
							村														府県	村														kg	
	7						市町														都道	市町							1・2・3							t m ³	
							村														府県	村														kg	
	8						市町														都道	市町							1・2・3							t m ³	
						村														府県	村														kg		
9						市町														都道	市町							1・2・3								t m ³	
						村														府県	村															kg	
10						市町														都道	市町							1・2・3								t m ³	
						村														府県	村															kg	
11						市町														都道	市町							1・2・3								t m ³	
						村														府県	村															kg	
12						市町														都道	市町							1・2・3								t m ³	
						村														府県	村															kg	
13						市町														都道	市町							1・2・3								t m ³	
						村														府県	村															kg	
14						市町														都道	市町							1・2・3								t m ³	
						村														府県	村															kg	
15						市町														都道	市町							1・2・3									t m ³
						村														府県	村															kg	

⑤中間処理方法コード表

A: 焼却 J: 溶融
B: 脱水 K: 切断
C: 天日乾燥 L: 焼成
D: 機械乾燥 M: 堆肥化
E: 油水分離 N: 銀回収
F: 中和 O: コークス固型化
G: 破碎 V: 濃縮
H: 分級 W: 油化
I: 圧縮 X: 造粒固化・混練固化

Z: その他
具体的な方法を記入してください

⑦処理・処分方法コード表

<自社処分>

Q1: 自社の処分場で埋立処分した
V1: 自社で再利用した
V2: 売却できないものを自社で再利用した
W1: 売却(利益があった)した
Z1: 自社で保管している

<市町村へ委託処理>

R1: 市町村、一部事務組合等が設置する処分場で埋立処分した
R5: 市町村の清掃工場等で処理(焼却、破碎等)した
(市町村のごみ収集を含む)
R6: 市町村の清掃工場でリサイクルした

<産業廃棄物処理業者等へ委託処理>

S1: 処理業者の処分場で直接埋立処分した
S2: (一財)佐賀県環境クリーン財団(クリーンパークさが)で直接埋立処分した
T1: 処理業者で直接海洋投入した
U1: 処理業者に中間処理(資源化・リサイクルを含む)を委託した
U2: (一財)佐賀県環境クリーン財団(クリーンパークさが)で中間処理(焼却・溶融、破碎、中和)を委託した
X1: 廃品回収(資源)業者、あるいは納入業者、関連企業等でリサイクル(無償引渡)した

<その他>

Z9: その他
具体的な処理方法を記入してください

⑩⑭地域コード表

<佐賀県内の場合>

01: 佐賀市、多久市、小城市、神埼市、吉野ヶ里町
02: 鳥栖市、基山町、上峰町、みやき町
03: 唐津市、玄海町
04: 伊万里市、有田町
05: 武雄市、鹿島市、壺野市、大町町、江北町、白石町、太良町

<宮崎県外の場合>

21: 北海道	37: 石川県	53: 岡山県
22: 青森県	38: 福井県	54: 広島県
23: 岩手県	39: 山梨県	55: 山口県
24: 宮城県	40: 長野県	56: 徳島県
25: 秋田県	41: 岐阜県	57: 香川県
26: 山形県	42: 静岡県	58: 愛媛県
27: 福島県	43: 愛知県	59: 高知県
28: 茨城県	44: 三重県	60: 福岡県
29: 栃木県	45: 滋賀県	61: ー
30: 群馬県	46: 京都府	62: 長崎県
31: 埼玉県	47: 大阪府	63: 熊本県
32: 千葉県	48: 兵庫県	64: 大分県
33: 東京都	49: 奈良県	65: 宮崎県
34: 神奈川県	50: 和歌山県	66: 鹿児島県
35: 新潟県	51: 鳥取県	67: 沖縄県
36: 富山県	52: 島根県	

⑪委託中間処理方法コード表

A: 焼却 K: 切断
B: 脱水 L: 焼成(以外原燃料)
C: 天日乾燥 M: 堆肥化(発酵)
D: 機械乾燥 N: 銀回収
E: 油水分離 O: コークス固型化
F: 中和 T: 金属(鉄)回収
G: 破碎 U: 非鉄金属回収
H: 分級 V: 濃縮
I: 圧縮 W: 油化
J: 溶融 X: 造粒固化・混練固化
Y: 解体

Z: その他
具体的な処理方法を記入してください

⑬再生利用用途コード表

10: 鉄鋼原料	60: バルブ・紙原材料
20: 非鉄金属等原材料	70: ガラス原材料
30: 燃料	80: プラスチック原材料
31: 木炭・炭化物	81: 再生タイヤ
41: 飼料	90: セメント原材料
42: 肥料	91: 再生油・再生溶剤
43: 土壤改良材	92: 中和剤
50: 土木・建設資材	93: 高炉還元
51: 再生木材・合板	98: その他
52: 再生骨材・再生路盤材	

Z: その他
具体的な用途を記入してください

〈調査票の記入要領・記入例〉

- ※ この資料には、調査票の具体的な記入例が記載してあります。
- ※ お手数ですが、この「記入例」を参考にして調査票にご記入の上、同封の返信用封筒（切手不要）にて、ご返送くださいますようお願いいたします。
- ※ 本調査に関するお問い合わせは、(株)グリーンエコ(電話0120-380-121)へお願いいたします。
- ※ ご提出いただいた調査票の記入内容について、電話等により確認させていただく場合もありますので、必ず調査票の控えを取っておいていただきますようお願いいたします。
- ※ E-mailで回答される場合は、saga-sp@gr-eco.co.jpへ送信くださいますようお願いいたします。

調査票【その1】の記入要領・記入例

の部分が、記入箇所です。記入例を参考にして調査票【その1】に記入してください。

事業所の概要	事業所名	(株)〇〇〇建設												
	所在地	〒xxxx-xxxx 佐賀市△-□□												
	ふりがな	さが たろう												
	記入者	部・課名 :	〇〇部 〇〇課	氏名 :	佐賀 太郎									
	電話番号	□□□□ - □□ - □□□□	FAX番号	□□□□ - □□ - □□□□										
令和5年度 工事実績	佐賀県内の元請完成工事 1 あり 2 なし	元請完成工事高 (消費税含む) 県内工事の年間元請完成工事高 (出来高工事含む) を記入してください。			佐賀県内の解体請工事 1 あり 2 なし	解体工事請負金額 (消費税含む) 県内における年間の解体工事の請負金額を記入してください。								
		千億	百億	十億		千万	百万	十万	万円	千億	百億	十億	千万	百万
		30600					480					万円/年		
廃棄物等 発生の有無	令和5年度の1年間に産業廃棄物等 (自社又は工事現場で不要となり、有償で取引されたものを含む) は発生しましたか。該当する番号に○を付けてください。													
	1. 発生した			2. 発生しなかった										

「元請完成工事高」の記入について

令和5年度の佐賀県内の工事における元請完成工事高を記入してください。

「解体工事請負金額」の記入について

令和5年度の佐賀県内の解体工事における請負金額を記入してください。

<調査票の記入要領・記入例【その2】>

形式-E：65（建設業）

調査対象期間

●この調査の対象期間は、令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）の1年間です。この期間中の廃棄物等の発生と処理・処分の状況を質問①～⑯までの流れに従って記入してください。

調査対象とする事業所と廃棄物

●この調査では、佐賀県内で施工した元請工事から発生した廃棄物等が記入の対象となります。
●廃棄物等の分類については、裏面の「廃棄物等分類表」を参考にしてください。

発生量について

●発生した廃棄物等の「名称」と「発生量」の回答欄には、「焼却」、「脱水」等の処理を行う前の「名称」と「数量」をお答えください。

○自社で焼却している場合、発生した廃棄物等とは焼却前のものです。（記入例Bを参考にしてください）
木くず、紙くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「④年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物等の名称」、「②分類番号」は、燃やす前の名称とその分類番号となります。なお、焼却後の灰の量が「⑥中間処理後量」となります。

○自社で脱水している場合の発生した廃棄物等とは脱水前のものです。（記入例Dを参考にしてください）
汚泥の発生量は、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された1年間の量が「④年間発生量」となります。なお、脱水前の重量を把握していない場合は、下記の式より計算してください。

$$\text{＜式＞：（脱水前の汚泥発生量）＝（脱水後の汚泥量）×（100\%-脱水後の含水率\%）÷（100\%-脱水前の含水率\%）}$$

●ただし、以下のものについては、中間処理後のものを発生量としてお答えください。
○廃酸、廃アルカリを公共水域（河川、公共下水道等）へ放流するために中和処理した場合。 → 中和処理後の「汚泥」を発生量とします。
○含油排水を油水分離した場合。 → 油水分離後の「廃油」と「油でい」等を個別に（行を分けて記入）発生量とします。

記入について

- 同じ種類の廃棄物等でも中間処理方法や処分方法、委託処理先等が異なる場合は、質問①の欄から行を分けて記入してください。
- 廃棄物量をt(トン)又はkg(キログラム)以外の単位で把握している場合は、できる限り重量換算して記入してください。また、個数や本数の場合も1個当たりの重量等より換算してください。
- 委託処理については、マニフェスト伝票、委託契約書等を参考に記入してください。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認した上で記入してください。

⑤中間処理方法コード表

- A：焼却
- B：脱水
- C：天日乾燥
- D：機械乾燥
- E：油水分離
- F：中和
- G：破砕
- H：分級
- I：圧縮
- J：溶融
- K：切断
- L：焼成
- M：堆肥化
- N：銀回収
- O：カレット固型化
- V：濃縮
- W：油化
- X：造粒固化・混練固化
- Z：その他

⑦処理・処分方法コード表

- ＜自己処理＞
Q1：自社の処分場で埋立処分した。
V1：自社で再利用した。
V2：自社現場内で利用した。
W1：売却（利益があった）した。
Z1：自社で保管している。
- ＜産業廃棄物処理業者等へ委託処理＞
S1：処理業者の処分場で直接埋立処分した。
S2：（一財）佐賀県環境クリーン財団(クリーンパークさが)で直接埋立処分した。
T1：処理業者で直接海洋投入した。
U1：処理業者に中間処理（資源化・リサイクルを含む）を委託した。
U2：（一財）佐賀県環境クリーン財団(クリーンパークさが)で中間処理（焼却・溶融、破砕、中和）を委託した。
X1：廃品回収（資源）業者、あるいは納入業者、関連企業等でリサイクル（無償譲渡）した。
- ＜市町村へ委託処理＞
R1：市町村、一部事務組合等が設置する処分場で埋立処分した。
R5：市町村の清掃工場等で処理（焼却、破砕等）した。（市町村のごみ収集を含む）
R6：市町村の清掃工場等でリサイクルした。
- ＜その他＞
Z9：その他

⑪委託中間処理方法コード表

- A：焼却
- B：脱水
- C：天日乾燥
- D：機械乾燥
- E：油水分離
- F：中和
- G：破砕
- H：分級
- I：圧縮
- J：溶融
- K：切断
- L：焼成(セメント原料)
- M：堆肥化(発酵)
- N：銀回収
- O：カレット固型化
- T：金属(鉄)回収
- U：非鉄金属回収
- V：濃縮
- W：油化
- X：造粒固化・混練固化
- Y：解体
- Z：その他

⑬再生利用用途コード表

- 10：鉄鋼原料
- 20：非鉄金属等原材料
- 30：燃料
- 31：木炭・炭化物
- 41：飼料
- 42：肥料
- 43：土壌改良材
- 50：土木・建設資材
- 51：再生木材・合板
- 52：再生骨材・再生路盤材
- 60：パルプ・紙原材料
- 70：ガラス原材料
- 80：プラスチック原材料
- 81：再生タイヤ
- 90：セメント原材料
- 91：再生油・再生溶剤
- 92：中和剤
- 93：高炉還元
- 98：その他

調査票【その2】の記入例

太字の部分が、記入箇所です。記入例を参考に調査票【その2】に記入してください。

区分	①廃棄物等の名称	②分類番号	③廃棄物の発生所 (工事場所)	④年間発生量							⑤処理方法				⑦処理・処分方法	⑧処理・処分先又は再生利用先の名称 (収集運搬業者ではなく、処分業者名・再生業者名をご記入ください)	⑨処理・処分先又は再生利用先の所在地	⑩所在地番号	⑪処理方法			⑬再生利用用途	⑭再生利用・最終処分の場所	⑮再生利用・最終処分先の名前 (委託中間処理後の残量)					
				発生工事場所番号	百	万	千	百	十	一	単位	1次処理	2次処理	3次処理					百	万	千			百	十	一	単位	1次処理	2次処理
記入例:A	木くず	0801	武雄市	05					30						U1	〇〇商店	都道府県 武雄市	05	G			①2・3	30		05	〇〇商店	30	t	
記入例:B	廃プラスチック類	0614	鳥栖市	02					10						A	自社	都道府県 鳥栖市	05				1・2・3							
記入例:C	廃プラスチック類	0614	みやき市	02					50						U1	(株)xx	都道府県 基山市	02	A			1②3			01	●●(有)	2	t	
記入例:D	ベントナイト汚泥	0222	唐津市	03					600						B	〇〇(株)	都道府県 唐津市	03				1・2・3							
記入例:E	コンクリートのがれき	1510	伊万里市	04					40						S2	クリーンパークさが	都道府県 唐津市	03				1・2・3							
記入例:F	コンクリートのがれき	1510	伊万里市	04					80						U1	△△(株)	都道府県 長崎市	03	G	H		①2・3	52		62	△△(株)	80	t	
記入例:F	壁紙くず	0701	小城市	01					50						U1	〇x(株)	都道府県 小城市	01	A			1②3			02	●●(有)	0	kg	

記入例:A

- ・武雄市の工事現場から建設木くずが年間で2t車で30台分（すべて満杯）発生した。
- ・1台当たりの重量が1t程度であるため重量に換算すると30tである。
- ・これは、武雄市にある〇〇商店に料金を払って処理を委託した。
- ・〇〇商店では、破砕チップ化し、燃料として再生利用（販売）している。

記入例:B

- ・鳥栖市の工事現場から廃プラスチックが年間10t発生した。
- ・すべて自社の焼却炉で焼却した。その灰の量は年間で1t程度であり、都城市内にある自社処分場で埋立処分した。

記入例:C

- ・みやき町の工事現場からプラスチックくずが年間50t発生した。
- ・これは、基山市の(株)xxに焼却処理を委託した。
- ・焼却処理後の燃え殻(約2t)については、佐賀市の●●(有)で埋立処分していることをマニフェスト票(E票)で確認した。

記入例:D

- ・唐津市の工事現場からベントナイト汚泥が発生したが、すべて工事現場内で脱水した。
- ・脱水後の汚泥量は、100t(含水率70%)であった。
- ・脱水前の量は、計量していないので正確でないが、脱水前の含水率が95%であるため計算すると600tとなる。
- ・処理後の汚泥は、唐津市にある〇〇(株)の管理型処分場で埋立処分（委託）した。

記入例:E

- ・伊万里市の工事現場からコンクリートのがれき等が10tダンプで12台分発生した。重量に換算すると120t程度である。
- ・このうち、40tは (株)〇〇に収集・運搬を委託し、唐津市のクリーンパークさがに埋立処分を委託した。
- ・残りの80tは、長崎県に破砕プラントを保有する△△(株)に中間処理を委託した。△△(株)では破砕・分級後に骨材として再生利用（販売）している。

記入例:F

- ・小城市の工事現場で壁紙くずが年間50kg発生した。小城市の〇x(株)に焼却処理を委託した。
- ・燃え殻(1kg未満)は、鳥栖市の●●(有)で、埋立処分していることをマニフェスト票(E票)で確認した。

廃棄物等分類表

1. 産業廃棄物

種 類	分類番号	具 体 例
汚泥（泥状のもの）	有機性汚泥 0211	排水処理汚泥、ビルピット汚泥（し尿を含むものは除く）
	無機性汚泥 0222	建設高含水率汚泥、ベントナイト汚泥、道路側溝汚泥＜建設残土は除く＞
油	一般廃油 0311	重機等の潤滑油、エンジンオイル、機械油、グリス、切削油、絶縁油
	溶剤 0320	アルコール類、ケトン、洗浄油
	固形油 0330	アスファルト、タールピッチ類
	油でい 0340	タンクスラッジ、オイルスラッジ、オイルトラップ汚泥、油性スカム
	油付着物等 0350	油の滲みたウエス、油紙くず、廃吸油材、廃シール材、クレオソート廃油、アンダーコートかす、廃塗料（液状）、インクかす、廃ワニス
廃酸	無機性の酸性廃液 0401	廃液で酸性を呈するもの
廃アルカリ	アルカリ性廃液 0501	廃液でアルカリ性を呈するもの
廃プラスチック類	塩化ビニル製建設資材 0608	塩化ビニル配管・継手＜ビニールシート、フィルム、タイルなどを除く＞
	FRP 0611	繊維強化プラスチック、ガラス繊維強化プラスチック、FRP製品くず
	熱可塑性樹脂 0612	ポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂、ポリプロピレン樹脂
	熱硬化性樹脂 0613	フェノール樹脂（ベークライト）、ユリア樹脂、エポキシ樹脂、メラミン樹脂、ウレタン樹脂
	プラスチック製品くず 0614	合成樹脂建材、塗料かす（固形）、エナメルかす、ラッカーかす、廃ワニス（樹脂系のもの）、接着剤かす、電熱皮膜材、プラスチックタイル、発泡スチロール、ビニールシート、ビニール袋
	合成ゴム 0615	バックینگくず、ライニングくず、固形ラテックス
	合成繊維 0617	ナイロン繊維、ポリエステル繊維、アクリル繊維、化繊ロープ
	廃タイヤ	大型 0625
普通・小型 0626		普通車・軽自動車用廃タイヤ
紙	くず 0701	印刷用紙、裁断紙くず、段ボール、新聞紙
木	くず 0801	木くず、おがくず、かんなくず、パーク類、竹、ベニヤ、ベニヤボード類、伐採木、伐採材、伐根材
	くず 0802	パレット、パレットへの貨物の積付けのために使用したこん包用の木材
	くず 0830	防腐・防虫木材、薬液処理合板、CCA処理木材
繊維	くず 0900	羊毛、綿、絹、麻等の天然繊維、レーヨン、アセテート混紡繊維（天然繊維が主体のもの）
ゴム	くず 1100	天然ゴムくず
金属	鉄くず 1210	鉄くず、スクラップ（主体が鉄製）、ブリキくず、トタンくず、スチール缶
	非鉄くず 1220	銅線、銅くず、アルミくず、アルミ缶
	混合金属くず 1230	自社にて分別を行わなかったものや分別不可能なもの
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	ガラスくず 1310	白熱電球、窓ガラス、びん類、グラスウール
	陶磁器くず 1320	かわら、土管、陶管、タイル
	石膏ボード 1330	石膏ボードくず
	コンクリート製品くず 1340	コンクリート製品くず（工作物の新築・改築又は除去に伴って生じたものを除く）
がれき類 〔工作物の新築、改築又は除去に伴うもの〕	コンクリート片 1510	コンクリート破片、コンクリートブロック破片
	廃アスファルト 1520	アスファルトコンクリートの破片
	その他 1530	鉄道用線路の砂利、骨材、石材、れんが、タイル、断熱材
混合廃棄物	安定型混合廃棄物 2100	①廃プラスチック類、②ゴムくず、③金属くず、④ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、⑤がれき類などの混合物、分別不可能なもので、安定型処分場に処分できるもの
	管理型混合廃棄物 2200	上記5品目（①～⑤）以外の産業廃棄物を含む混合物、分別不可能なもので、安定型処分場に処分できないもの
石綿含有産業廃棄物（非飛散性）	2400	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた産業廃棄物であって、石綿をその重量の0.1%を超えて含有するもの。ビニール板タイル（廃プラスチック類）、スレート板、サイディング、石綿セメント板（がれき類）など
水銀含有物	2101	水銀を15mg/kgを超えて含有する汚泥、廃酸、廃アルカリ、銲さい、ばいじん、燃え殻等
水銀使用製品産業廃棄物	2102	蛍光灯、水銀電池等原材料の一部に水銀を使用して作られた製品

2. 特別管理産業廃棄物 ※爆発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物等は特別管理産業廃棄物として分類されます。

特別管理産業廃棄物	可燃性廃油	0318	揮発油類、灯油類、軽油類の燃えやすい廃油	
	腐食性廃酸	0408	水素イオン濃度指数〔pH〕2.0以下の廃液	
	腐食性廃アルカリ	0508	水素イオン濃度指数〔pH〕12.5以上の廃アルカリ	
	特定有害産業廃棄物	特定有害燃え殻	0109	特定有害物質を含む焼却灰
		特定有害汚泥	0229	特定有害物質を含む汚泥
		特定有害廃油	0319	特定有害物質を含む廃油、トリクロロエチレン・テトラクロロエチレンを含む廃油等
		特定有害廃酸	0409	特定有害物質を含む酸性廃液
		特定有害廃アルカリ	0509	特定有害物質を含むアルカリ性廃液
		特定有害銲さい	1409	特定有害物質を含む銲さい
		特定有害廃石綿等	1538	吹き付け石綿（アスベスト）、石綿含有保温材、大気汚染防止法の特定粉じん発生施設を有する事業場の集じん装置で集められた飛散性の石綿など
	特定有害ばいじん	1809	特定有害物質を含むばいじん	
特定有害廃水銀等	2103	特定施設において生じた廃水銀等		
廃PCB等	7419	廃PCB等、PCB汚染物、PCB処理物		